

クラブ活動報告

フィリピンで婦人の就業支援プロジェクト「ミシンを寄贈」

堺北ロータリークラブ

堺北ロータリークラブは、フィリピンのサンミゲル・デ・マユモ・ロータリークラブ(地区 3770)に羽曳野 RC、和歌山城南 RC の協力を得て、婦人の就業支援プロジェクトでミシンを寄贈しました。

サンミゲル・デ・マユモ・ロータリークラブは、ルソン島の中部に位置するサンミゲル(ブラカン州)にある農業地域で、首都マニラから車で3時間の所にあり、近年は関連産業の衰退で困窮する家庭が多くなっています。今回の支援は、海南東 RC が、2023-2024 年度のシンガポール国際大会でサンミゲル・デ・マユモ RC と知り合い、2024-2025 年に同クラブを訪問。その後、同クラブが計画している婦人の就業支援プロジェクトへの支援要請があり、これを 2640 地区に相談。各クラブに協力を依頼したのが切欠となり、堺北 RC がロータリー財団地区補助金を申請し、中心となり、2クラブの協力があり、支援を実施しました。

プロジェクトのテーマは「より良い生活を縫う」として、地域住民に対し、ミシン及びその補助材料を提供することで、経済的自立を支援する目的。また、製作技術の習得や製品の物流を支援し、起業家を育成するもので、継続的に拡大することを計画している。具体的には、2つのバランガイ(村)のパリワサン地区とサンアグスティン地区から20名程度の熟練した縫製職人を選定し、ミシン20台、補助材料(布地、糸、針)を提供。収入を得る機会を提供することで産業化し、生活改善を図ろうとしている。



今回、2月24日~23日に堺北 RC から1名、海南東 RC から2名の計3名で同クラブを訪問。現況説明、ミーティングを経て、縫製作業を行う現場を視察しました。



次年度、グローバル補助金を活用したプロジェクトのパートナークラブを募集

また、サンミゲル・デ・マユモ RC は、次年度、疲弊する地域、困窮する住民の生活改善ため、地域経済の発展、育成、産業振興を目指し、グローバル補助金を活用したプロジェクトを計画しており、パートナークラブを求めています。

サンミゲル(ブラカン州)は、農業地域で古くから「パステリヤス・デ・レチェ」(フィリピンの伝統的なミルク菓子)の地域産業があるが、近年、新鮮なカラバオ牛乳の安定供給に課題を抱えています。これは、近年、日本などから、大型耕運機などの農耕機器が輸入されるようになり、多くの農家がカラバオ牛を所有しなくなったことから、カラバオ牛の数が減っているためです。このため、地域の伝統産業が衰退してきており、この産業に携わる関係する小規模の製造者、住民の低所得世帯は安定した生計手段を持たず、日雇い労働に頼らざるを得ない状況となっています。

具体的には、巡回型配布方式によって、低所得世帯20~30戸に乳用カラバオ牛を提供。農家とパステリヤス製造者を直接つなぐ協同の牛乳収集システムを確立し、生産性と収益性を確保し、継続的に拡大させる計画です。

フィリピンでカラバオ(水牛)を活用した地域振興は、困窮する農業村地域で、農業・観光・加工産業を組み合わせることで大きな可能性があります。特に「農業×観光×教育」を組み合わせるモデルが有効です。フィリピンは、ミルク(牛乳)の多くをオーストラリアから輸入しているため、カラバオの乳で代替しています。今後、次産業化モデル(酪農+加工+販売)として、期待できます。

